

「橋」を直して長持ちさせる取組をしています。

よぼうほぜん

橋を長持ちさせるポイントは、「予防保全」です。「人」の健康管理と同じように、よくない箇所を早く見つけて、悪化する前に早く対策することが「橋」でも大切です。

そのために、「橋」によくないところがないか「①点検」を行い、点検結果から「②診断」をして、対策が必要であれば「③措置（補修・補強）」を実施し、それらをカルテに「④記録」する。という一連の作業を定期的に行うことが重要になります。これをメンテナンスサイクルと呼びます。

横浜市道路局では、このメンテナンスサイクルを活用し、「横浜市橋梁長寿命化修繕計画」を立てて、効率的に「予防保全」していくことを目指しています。

私たちは、皆さんが安全・安心に利用できるように「橋」を守っていきます。そして、今ある橋を、健全な状態で将来世代に渡していきます！



メンテナンスサイクル



銭亀橋(泉区)
点検状況

①点検

5年に1回の
定期点検



銭亀橋(泉区)
床版の腐食状況

②診断

適切な措置
を検討



④記録

5年ごとに
状況と比較

点検調書

点検項目	点検結果	点検状況	点検日	点検者	点検場所
橋脚	良好	○	2023.10.10	田中	銭亀橋
橋桁	良好	○	2023.10.10	田中	銭亀橋
床版	腐食	△	2023.10.10	田中	銭亀橋
橋脚	良好	○	2023.10.10	田中	銭亀橋
橋桁	良好	○	2023.10.10	田中	銭亀橋
床版	腐食	△	2023.10.10	田中	銭亀橋

③措置

措置による
リスクの除去



銭亀橋(泉区)
床版の補修後の状況



反映

横浜市橋梁長寿命化修繕計画

よこはまの橋の豆知識

道路局橋梁課では約1,700橋の橋梁を管理しています。その橋に関する豆知識を紹介します。

橋梁課が管理している 橋の総延長



横浜駅から芦ノ湖までの距離とほぼ同じ長さの橋を管理しています。

橋梁課が管理している 橋の総面積



横浜スタジアム (3万5千㎡) の約17.2個分の広さを管理しています。

橋梁課が管理している一番古い橋 昇龍橋 (しょうりゅうはし)



栄区にある橋で完成は明治中期から大正初期とされています。
また橋梁課で管理する唯一の石橋です。

橋梁課が管理している一番長い橋 三枚高架橋 (さんまいこうかきょう)



神奈川区の環状2号線上にあり、羽沢横浜国大駅から新横浜方面へ向かう延長1,398mの橋です。

橋梁課では横浜の橋の歴史や小話を「はしのはなし」と称して紹介しています。
ご興味のある方はぜひご覧ください。

はしのはなしWebページは[こちら](#)

PR内容の向上のため、このチラシに関するアンケートにご協力をお願いします。
アンケートフォームは下記からアクセスしてください。

アンケートフォームは[こちら](#)

【お問い合わせ】チラシの内容及び橋の補修事業に関すること
道路局建設部橋梁課 ☎045-671-2796